NetBak Replicator

バージョン 4.5.0 に適用されます

内容

1 注記 1
2 NetBak Replicator のインストール 2
2.1 システム要件 2
2.2 ソフトウェアインストール 2
2.3 コマンドラインによるサイレントインストール 8
3 NetBak Replicator を使用する 9
3.1 初回ウィザード: 9
3.2 簡単モード 10
3.3 インスタントバックアップ 11
3.4 インスタント復旧 16
3.5 詳細モード 17
3.5.1 自動バックアップ 18
3.5.2 定期バックアップ 20
3.5.3 インスタントバックアップ 21
3.5.4 インスタント復旧 22
3.6 オプション 22
3.7 トレイアイコン管理 25
3.8 NetBak Replicator の終了 25
4 テクニカルサポート 26

1 注記

QNAP 製品をお選び頂きありがとうございます。このユーザーマニュアルでは、NetBak Replicator の使用方法を詳しく説明します。よくお読みになり、NetBak Replicator のすぐれた機能をご活用ください。

法的通知

©Copyright 2015. QNAP Systems, Inc. All Rights Reserved.

すべての特長、機能、およびその他の製品仕様は事前の通知または義務なく変更することがあります。本書に含まれる情報は通知なく変更することがあります。

QNAP および QNAP のロゴは QNAP システムズ社の商標です。その他のブランドおよび製品名はそれぞれの所有者の商標です。

また、本文では ® や ™ の記号が使用されていません。

免責事項

いかなる場合も QNAP システムズ社 (QNAP) の責任は直接的、間接的、特別、偶発的、または必然的なソフトウェアまたはそのマニュアルに由来する製品の対価を超えることはありません。QNAP は、その製品もしくはコンテンツまたは本書の使用および付随するすべてのソフトウェアに関して明示、黙示、または法定上の保証または説明を行いません。特に、品質、性能、商品性、または特別な目的のための適合性に対する責任を否認します。QNAP は、いかなる個人または事業体に対しても通知義務なく、製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改定または更新する権利を保持します。

起こりうるデータ損失を避けるため、定期的にシステムをバックアップしてください。QNAP は、いかなるデータの損失または復元についても一切の責任を放棄します。

返金またはメンテナンスのために NAS コンポーネントを返却する場合、出荷用に厳重に梱包されていることを確認してください。不適切な梱包によりいかなる形の損傷が生じても補償されません。

2 NetBak Replicator のインストール

2.1 システム要件

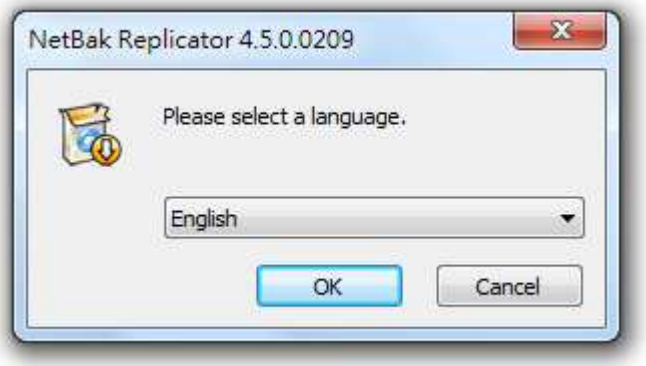
- Windows 10、8.1、Windows 8、Windows 7、Vista、XP (SP3)
- Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2
- 1 GHz 以上の速さを持つプロセッサー (x86 32 ビットまたは x86 64 ビット)
- 1 GB RAM (32 ビット) または 2 GB RAM (64 ビット)

2.2 ソフトウェアインストール

以下の手順に従い、NetBak Replicator をインストールします。

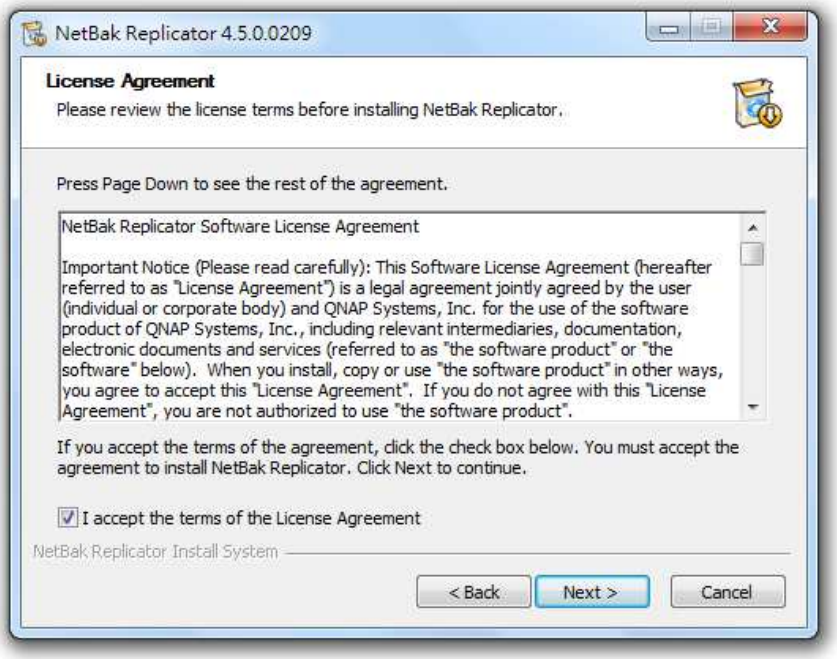
1. NetBak Replicator は QNAP Web サイト (http://www.qnap.com) からダウンロードしてインストールするか、製品 CD-ROM (該当する場合) からインストールできます。

2. 言語を選択し、「OK」をクリックします。



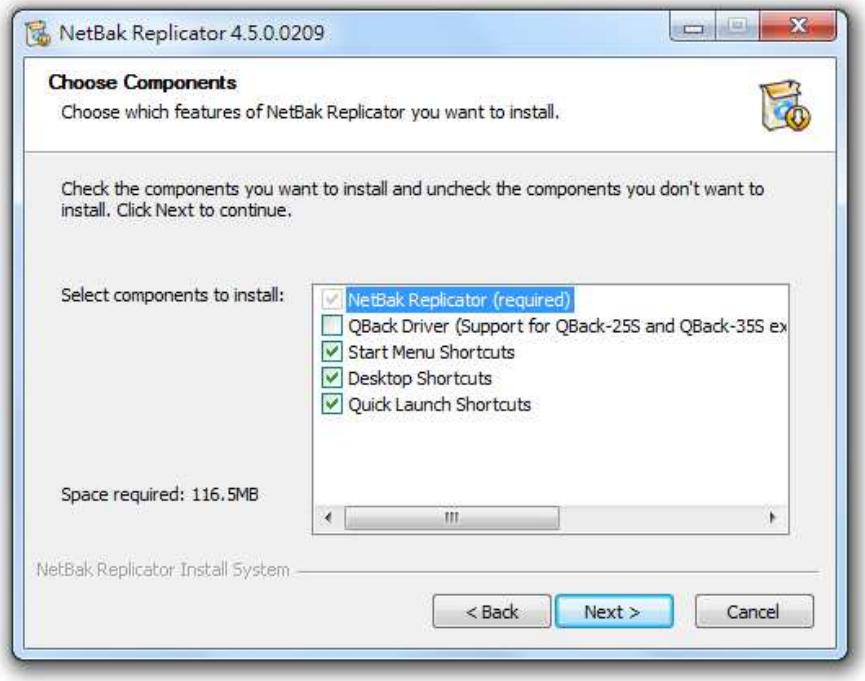
3. NetBak Replicator 設定ウィザードが表示されたら、「次へ」をクリックします。

4.　ソフトウェアをインストールする前にライセンス契約を読み、それに同意する必要があります。

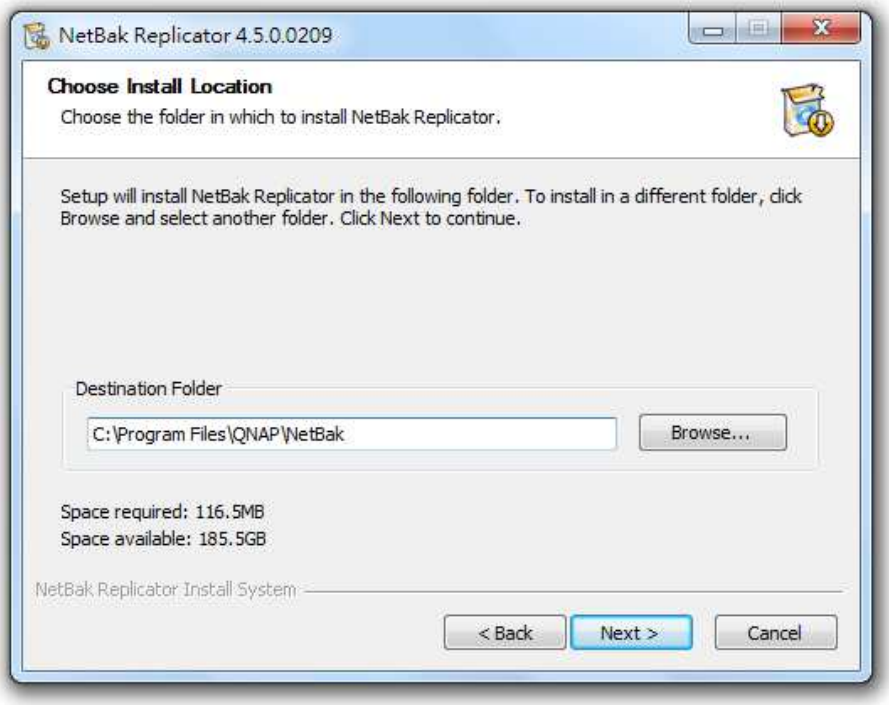


5.　インストールする機能を選択し、「次へ」をクリックします。

QBack Driver は、バックアップ先として QBack S-25 または QBack S-35 外付け USB ドライブを使用している場合にのみ必要です。



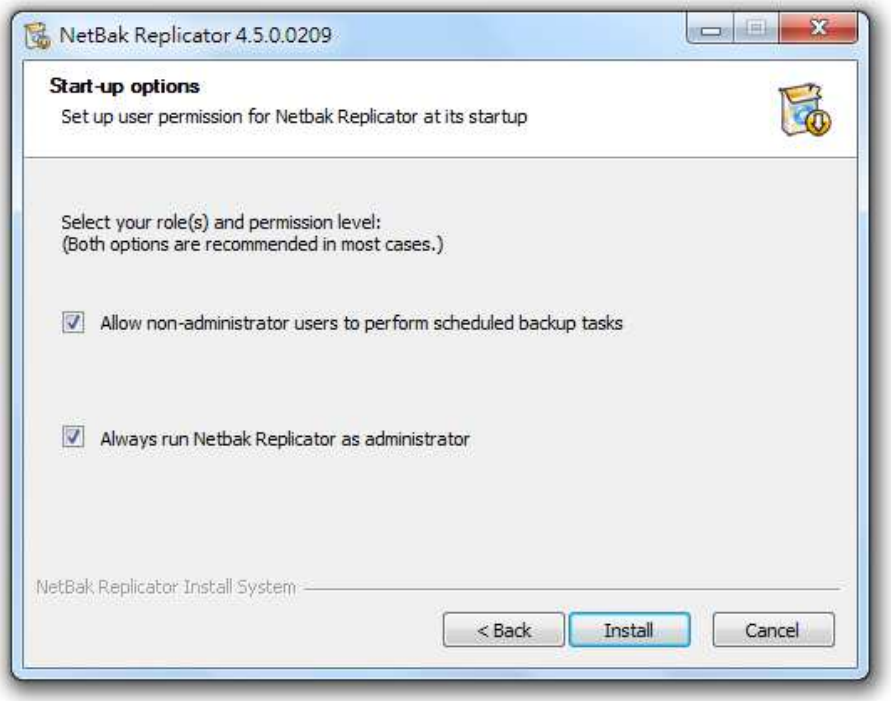
6. インストール場所を選択し、「インストール」をクリックします。NetBak Replicator はコンピューターのローカルドライブにインストールする必要があることに注意してください。



7. 追加オプションの選択:

- 管理者以外のユーザーが定期バックアップタスクを実行できる
- NetBak Replicator を常に管理者として実行する。

いずれのオプションもデフォルトでは選択されてます。(以降の説明にあるように) 多くの場合に適しています。



- 管理者以外のユーザーが定期バックアップタスクを実行できる

(チェックを外した場合、管理者以外のユーザーは定期バックアップを実行できないが、インスタントバックアップは実行できます)

このオプションを選択すると、管理者以外のユーザーが Windows Task Scheduler を利用して定期バックアップタスクを実行できます。デフォルトでは、Windows のセキュリティ機能により、管理者以外のユーザーは定期バックアップタスクを実行できません。このオプションが選択されている場合、NetBak により、ローカルユーザーに対してのみ、設定が自動的に変更されます。

この設定は Windows のローカルポリシー設定から手動で変更できます。あるいは GPO でユーザーに「バッチジョブとしてログオンする」権利を与えることで変更できます。参照:

http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc957131.aspx

アクティブディレクトリに関しては、管理者は GPO でユーザーにこの権限を与え、管理者ではないドメインユーザーに定期バックアップを実行する権限を与える必要があります。

- NetBak Replicator を常に管理者として実行する

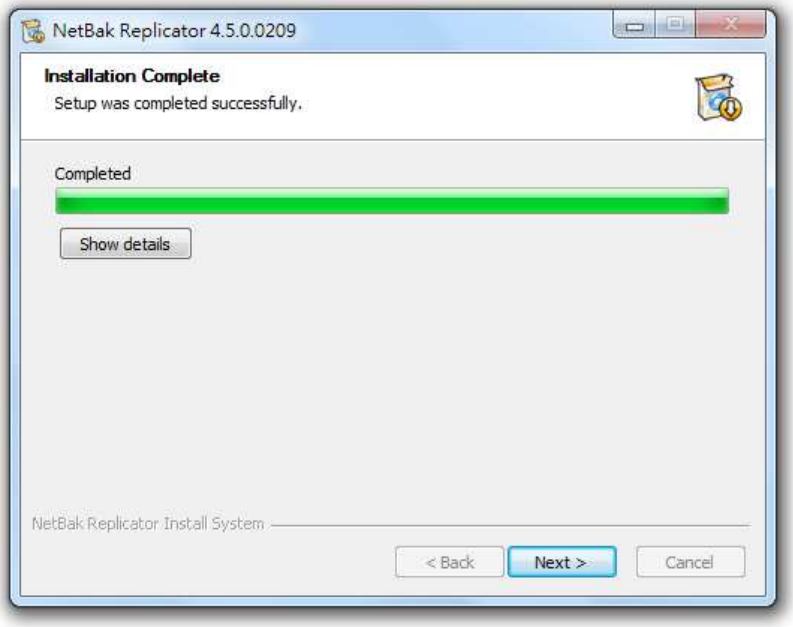
(チェックを外した場合、管理者以外のユーザーは NetBak Replicator を起動できません)

デフォルトでは、システムファイルや管理者権限を必要とするファイルのバックアップをユーザーに許可するには、Netbak Replicator を管理者として実行します。これは多くの場合、サーバーのバックアップに必要です。

ただし、NetBak Replication が管理者権限のないユーザーにより使用される場合は無効にできます。

注記: 両方のオプションが選択されているとき、2 つ目のオプションの優先度が高く、管理者として実行するように NetBak Replicator を設定します。

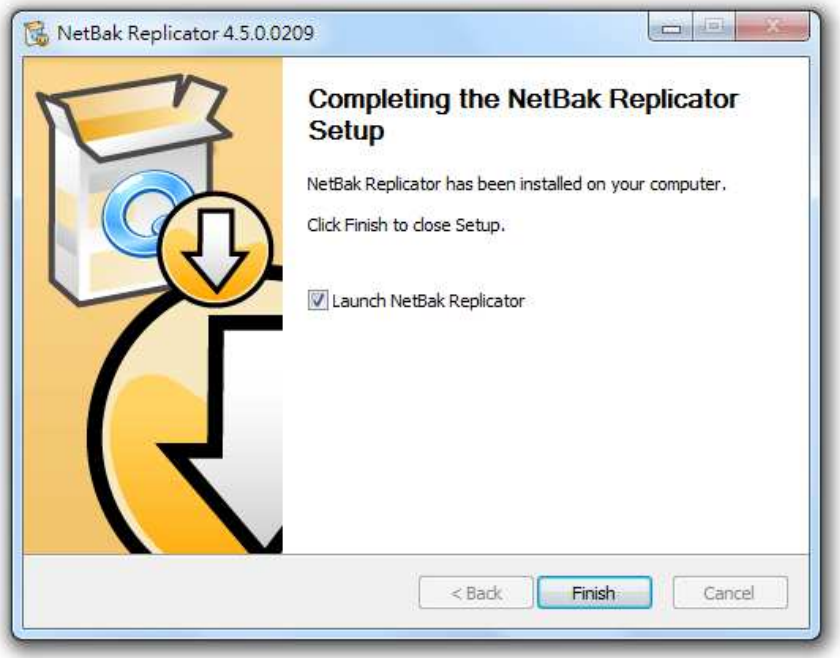
8.　設定が完了したら、「次へ」をクリックします。



9.

QBack Driver をインストールした場合、再起動が必要になることもあります。コンピューターをすぐに再起動するか、後で再起動するように選択します。

「完了」をクリックし、インストールを完了します。



2.3 コマンドラインによるサイレントインストール

NetBak Replicator はコマンドラインでインストールすることもできます。

スクリプトまたは GPO とアクティブディレクトリで配置するためにコマンドラインを利用できます。

```
QNAPNetBakWindows-4.3.0.exe [/S] [/R=NO] [/A=NO] [/D=instdir]
/S                    Enables silent install
/D=instdir            Specifies the install directory
/R=NO        Run as administrator is disabled (default is enabled) – Non-administrator user cannot run NetBak Replicator
/G=NO        Grant "Log on as a batch job" is disabled (default is enabled) – Non-administrator user cannot run schedule backup
```

スイッチは大文字にする必要があります。

パスにスペース文字が含まれる場合でも、スイッチ /D は二重引用符を使用せずに最後に配置する必要があります。

例:

```
QNAPNetBakWindows-4.3.0.exe /S /D=C:\Program Files\NetBak
```

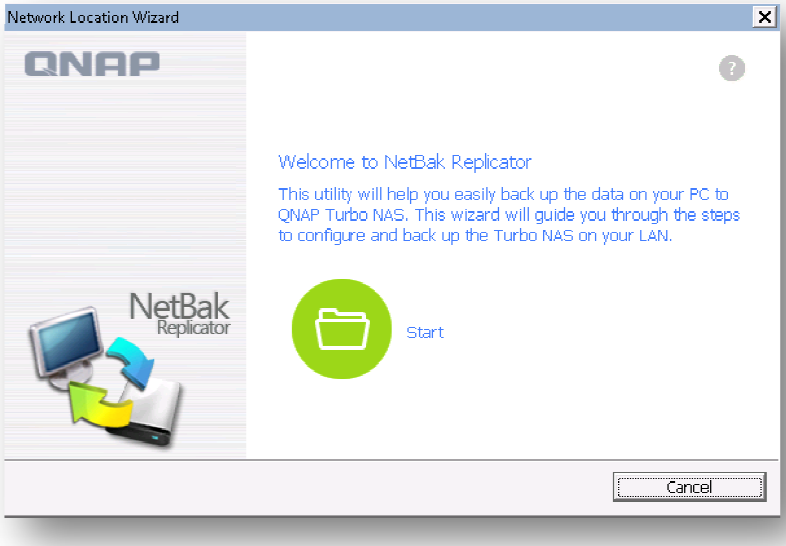
NetBak Replicator をディレクトリ C:\Program Files\NetBak にインストールし、ダイアログを表示しません (デフォルト設定を使用します)。

```
QNAPNetBakWindows-4.3.0.exe /S/G=NO
```

NetBak Replicator をデフォルトインストールディレクトリにインストールし、ダイアログを表示しません。(/S)
また、「管理者として実行」を無効にして管理者以外のユーザーに NetBak Replicator の起動を許可します。(/G=NO)
また、管理者以外のユーザーが定期バックアップを実行できるように許可します。(デフォルト)

3 NetBak Replicator を使用する

3.1 初回ウィザード:



初回ウィザードでは、いくつかの簡単なステップで最初のバックアップ先を設定できます。

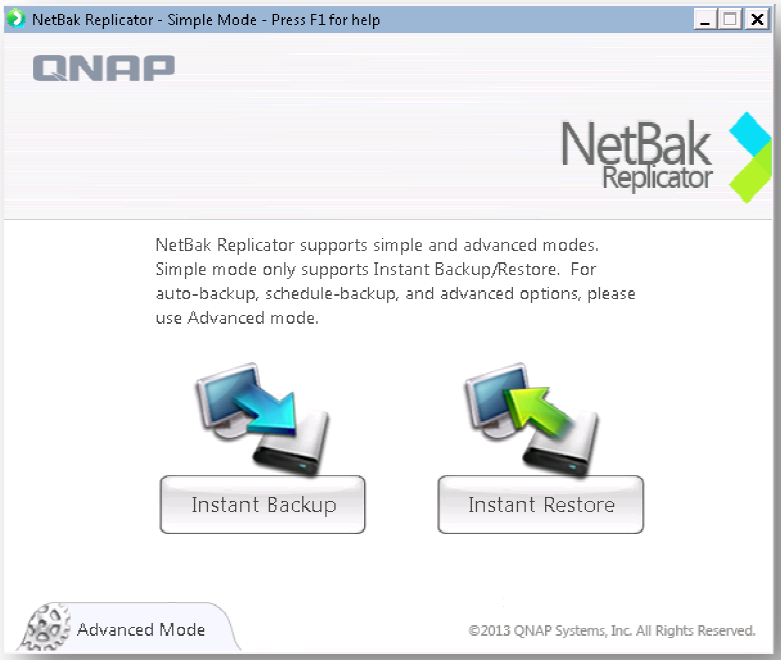
- NAS の選択
- 共有フォルダーの選択

NetBak Replicator はよく使用されるほとんどのバックアップ先を記憶できるため、必要に応じて複数のバックアップ先にデータをバックアップするのに便利です。

「開始」をクリックし、ウィザードに従います。

3.2　簡単モード

NetBak Replicator はデータのバックアップと復旧に「簡単モード」と「詳細モード」をサポートします。 簡単に設定するには、「インスタントバックアップ」と「インスタント復旧」を選択します。自動バックアップ、定期バックアップ、フィルター設定などの高度なオプションを使用するには、「詳細モード」または「オプション」を選択します。



機能	説明
インスタントバックアップ	データをバックアップ先に短時間でバックアップします。
インスタント復旧	データをバックアップから瞬時に復旧します。
詳細モード	自動バックアップ、定期バックアップ、NetBak Replicator 管理など、NetBak Replicator の高度な機能。

3.3 インスタントバックアップ

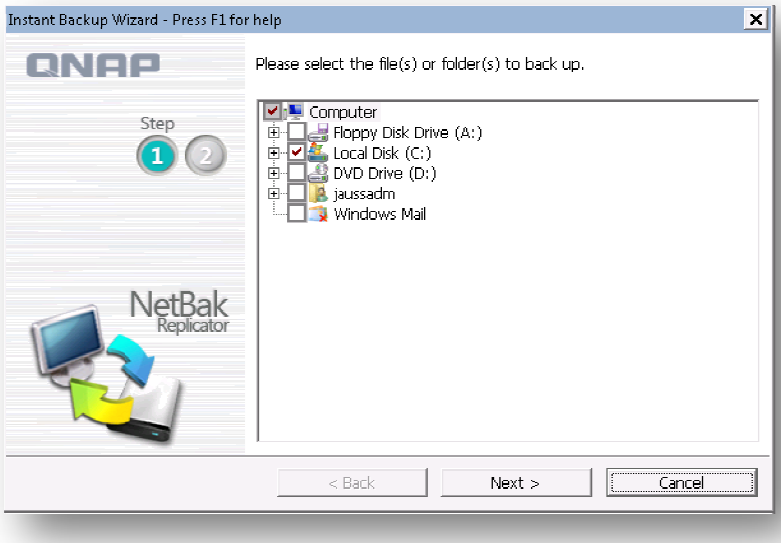
インスタントバックアップを使用するには、

(インスタントバックアップ) をクリックします。

バックアップ元:

NetBak Replicator はコンピュータードライブ、メールデータ (Outlook*、Outlook Express、Windows Mail)、ドキュメント、デスクトップ、お気に入り、フォントのデータバックアップをサポートします。バックアップするフォルダーとファイルを選択し、「次へ」をクリックします。

*NetBak Replicator は、コンピュータードライブまたはネットワークドライブにある Microsoft Outlook からのみ、すべての有効な個人フォルダーファイル (PST ファイル) をバックアップできます。



バックアップ先

バックアップ先には内部または外部のディスクドライブか、ネットワーク共有を指定できます。最近選択した場所が表示されることに注意してください。

- ローカルドライブ
- ネットワークロケーションウィザード
- ネットワークロケーション
- その他の場所
- 場所削除

a. ローカルドライブ

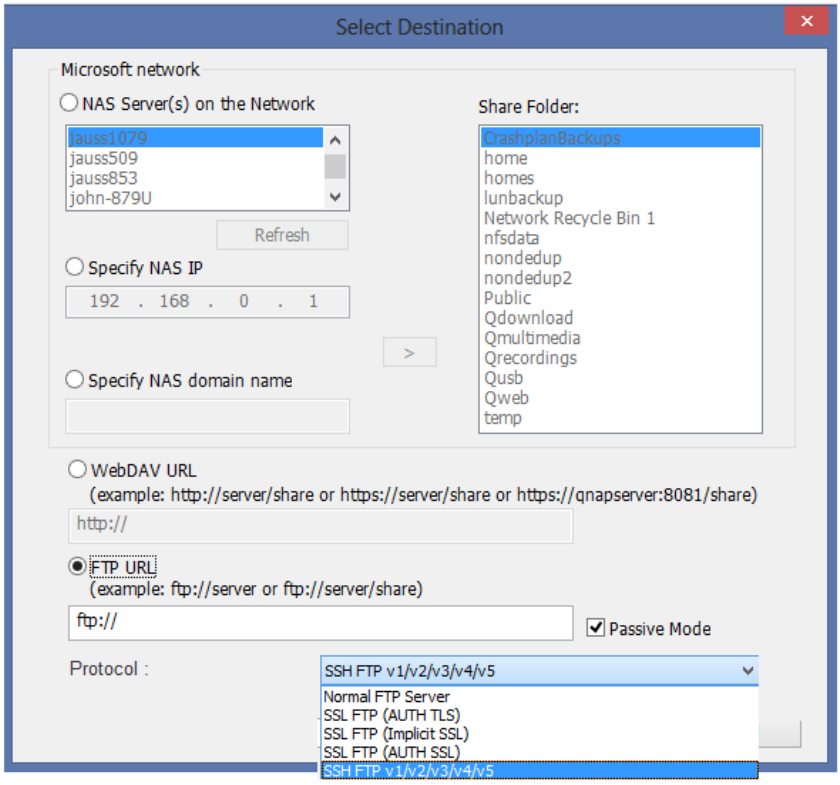
バックアップ先としてローカルドライブまたは外部ドライブの文字を選択します。

b. ネットワークロケーションウィザード

ウィザードを開始し、新しいバックアップ先を追加します。(初回ウィザードと同じ)

c. ネットワークロケーション

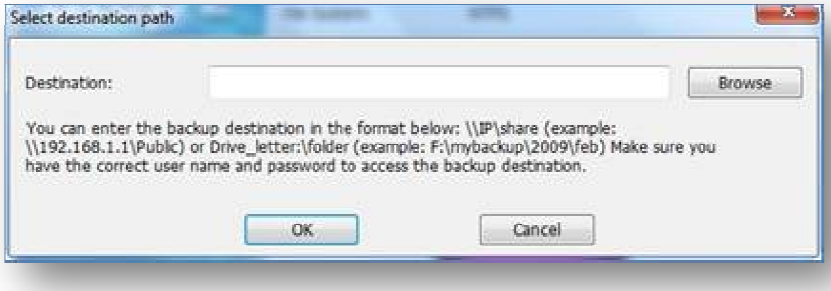
「ネットワークロケーション」を選択し、Microsoft Networking セクションからの QNAP NAS の共有フォルダー、WebDAV フォルダーまたは FTP フォルダーをバックアップ先として指定します。この機能を使用するときは、コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。



機能	説明
ネットワークの NAS サーバー	ローカルネットワークで利用できるすべての NAS サーバーが表示されます。NAS サーバーとデータのバックアップ先となる共有フォルダーを選択します。
NAS IP	NAS IP によりバックアップ先を指定するには、このオプションを選択し、NAS の IP アドレスを入力します。それから「>」をクリックし、NAS の共有フォルダーを表示します。
NAS ドメイン名	NAS ドメイン名 (DNS) によりバックアップ先を指定するには、このオプションを選択し、NAS のアドレスを入力します (例: mynas.mydomain.local)。それから「>」をクリックし、NAS の共有フォルダーを表示します。
WebDAV URL	WebDAV フォルダーをバックアップ先として指定します。フォルダーディレクトリを入力し、「OK」をクリックします。フォルダーへの適切なアクセス権を持っていることを確認してください。「OK」をクリックすると、ユーザー名とパスワードを入力するためのダイアログが表示されます。「詳細」をクリックし、プロキシを設定することもできます。
FTP URL	FTP フォルダーをバックアップ先として指定できます。フォルダーディレクトリを入力し、「OK」をクリックします。フォルダーへの適切なアクセス権を持っていることを確認してください。
パッシブモード	FTP パッシブモードを有効化するにはこのオプションを選択します。FTP 接続に問題がある場合にこのオプションを試してください。
プロトコル	FTP に SSL または SSH トンネルを使用します。SSH を選択した場合、パッシブモードが無効になります。
>	「>」クリックし、選択した NAS のネットワーク共有を表示します。
更新	NAS が見つからない場合、「更新」をクリックし、再試行してください。

d. その他の場所

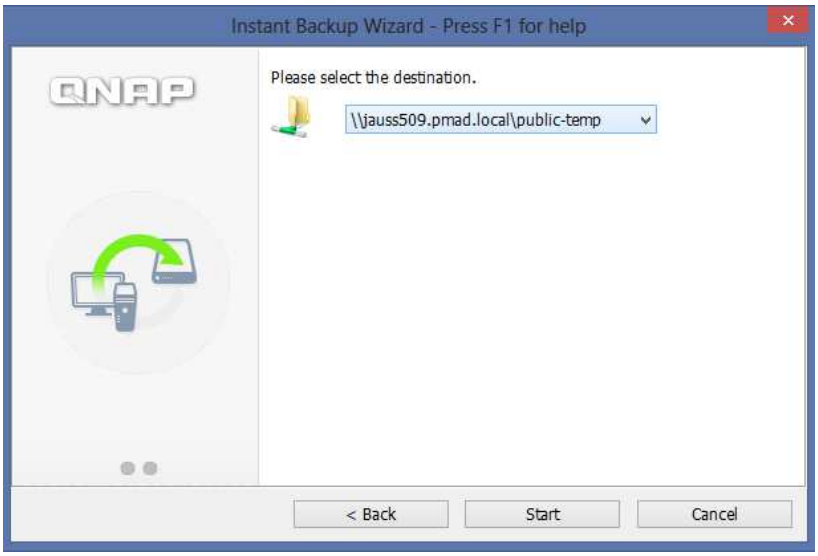
「その他の場所」を選択し、共有フォルダーの場所を指定できます。



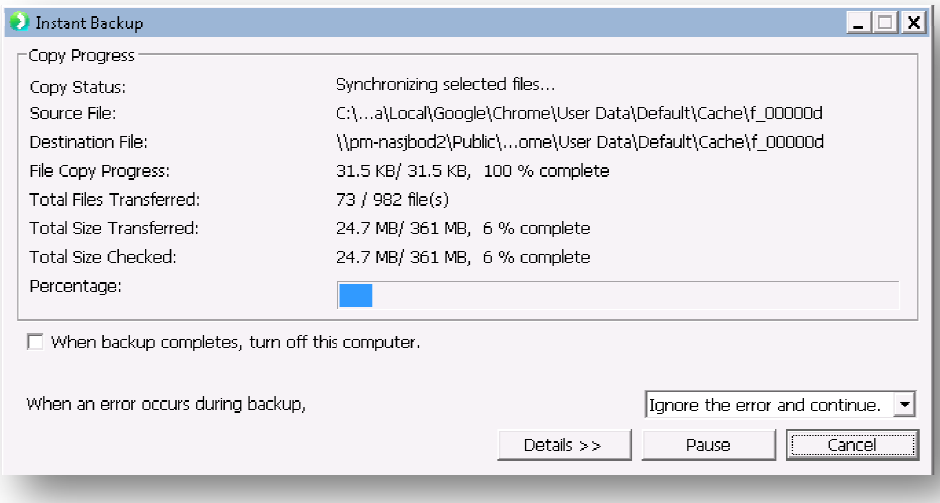
e. 場所削除

NetBak Replicator は以前のバックアップ先を記憶するので、それを一覧から削除できます。

「開始」をクリックし、データをバックアップします。


Instant Backup Wizard - Press F1 for help
QNAP
Please select the destination.
\\jauss509.pmad.local\public-temp
< Back
Start
Cancel

バックアップ中には進捗度が表示されます。



機能	説明
バックアップが完了したら、このコンピューターの電源を切ります	このオプションを選択すると、バックアップの完了後にコンピューターの電源を自動的に切ります。
エラー発生時のアクション	バックアップ中にエラーが発生した場合、以下の機能のいずれかを選択できます。 1. 警告ダイアログを表示します。 2. エラーを無視して続行します。 3. アクションを停止します。
詳細	バックアップ情報を表示します。ログの上にカーソルを合わせると詳細を表示できます。
一時停止	バックアップアクションを一時停止します。
完了	「完了」をクリックして終了します。

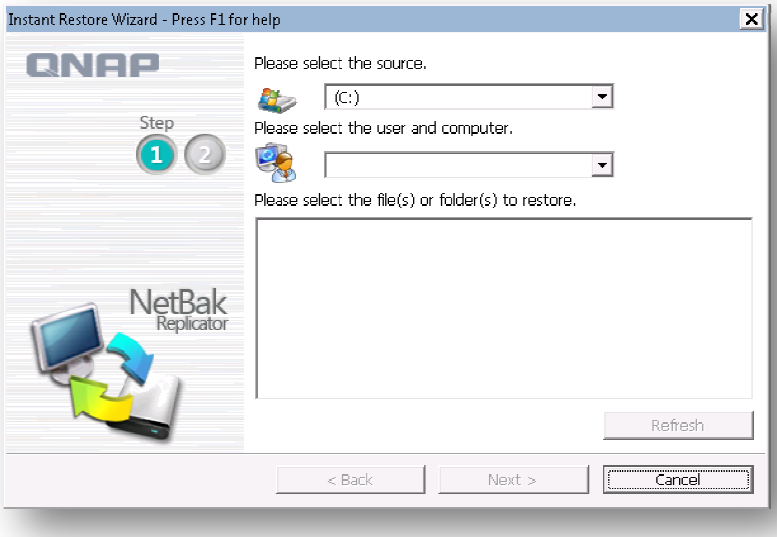
バックアップが完了すると、概要が表示されます。「OK」をクリックし、「完了」をクリックして終了します。

3.4　インスタント復旧

1.　NetBak Replicator でデータを復旧するには、

(インスタント復旧) をクリックします。

2.　データソース、ユーザー、コンピューターを選択し、復旧するファイルまたはフォルダーを指定します。「次へ」をクリックします。データソースがネットワーク共有または外部ドライブの場合、それが利用できることを確認します。



3.　復旧ファイルが元のファイルとは異なる場合、復旧場所とアクションを選択します。「開始」をクリックして復旧を開始します。

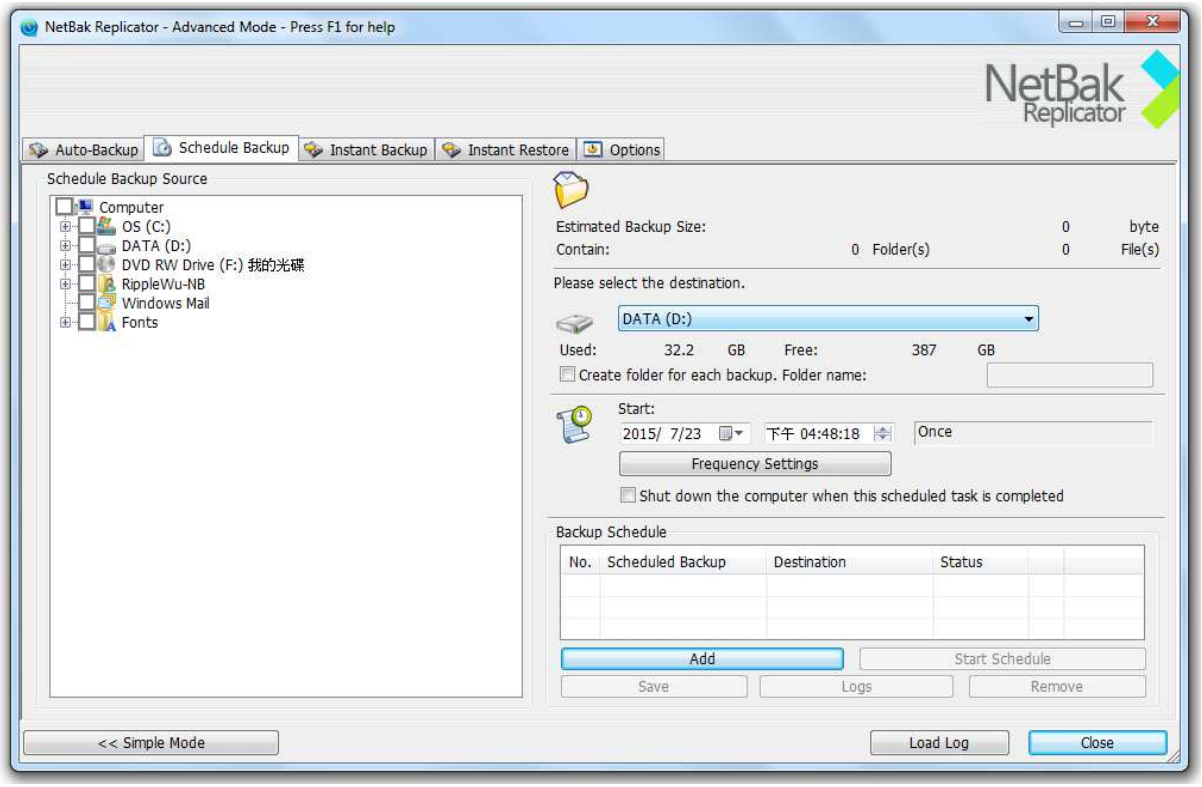
4.　復旧が完了すると、概要が表示されます。「OK」をクリックして続行します。

5.　「詳細」をクリックして復旧情報を表示するか、「完了」をクリックして終了します。

3.5 詳細モード

NetBak Replicator は、自動バックアップ、定期バックアップ、フィルター設定、開いたファイルのバックアップ設定など、高度な機能を提供します。詳細モードを使用するには、NetBak Replicator を実行し、

(Advanced Mode (詳細モード)) を選択します。



機能	説明
自動バックアップ	バックアップ先への自動データバックアップを実行します。
定期バックアップ	バックアップスケジュールを設定します。
インスタントバックアップ	データをバックアップ先に短時間でバックアップします。
インスタント復旧	データをバックアップから瞬時に復旧します。
オプション	詳細なバックアップを設定します。

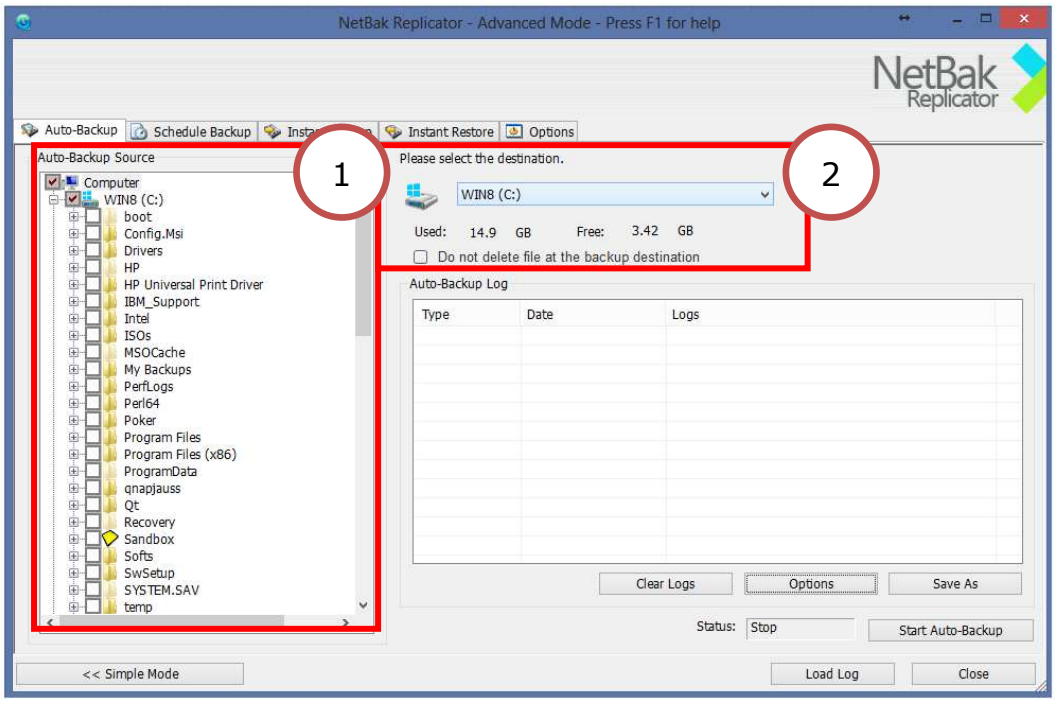
さらに、次のコマンドラインで定期バックアップを開始できます。

```
C:\Program Files\QNAP\NetBak\Netbak.exe /backupjob:2
```

3.5.1 自動バックアップ

NetBak Replicator はコンピュータードライブ、マイドキュメント、デスクトップ、お気に入りを QNAP QBack デバイス、ローカルまたは外部ディスクドライブ、ネットワーク共有に自動バックアップします。ソースファイルが追加、変更、削除されると、バックアップ先でも変更が自動的に同期化されます。(自動バックアップでは、「開いたファイル」オプション (VSS) はサポートされません)

注記: この機能には増分バックアップが使用されます。最初のデータバックアップ後、NetBak Replicator は前回のバックアップ以降に追加または変更されたファイルのみをコピーします。



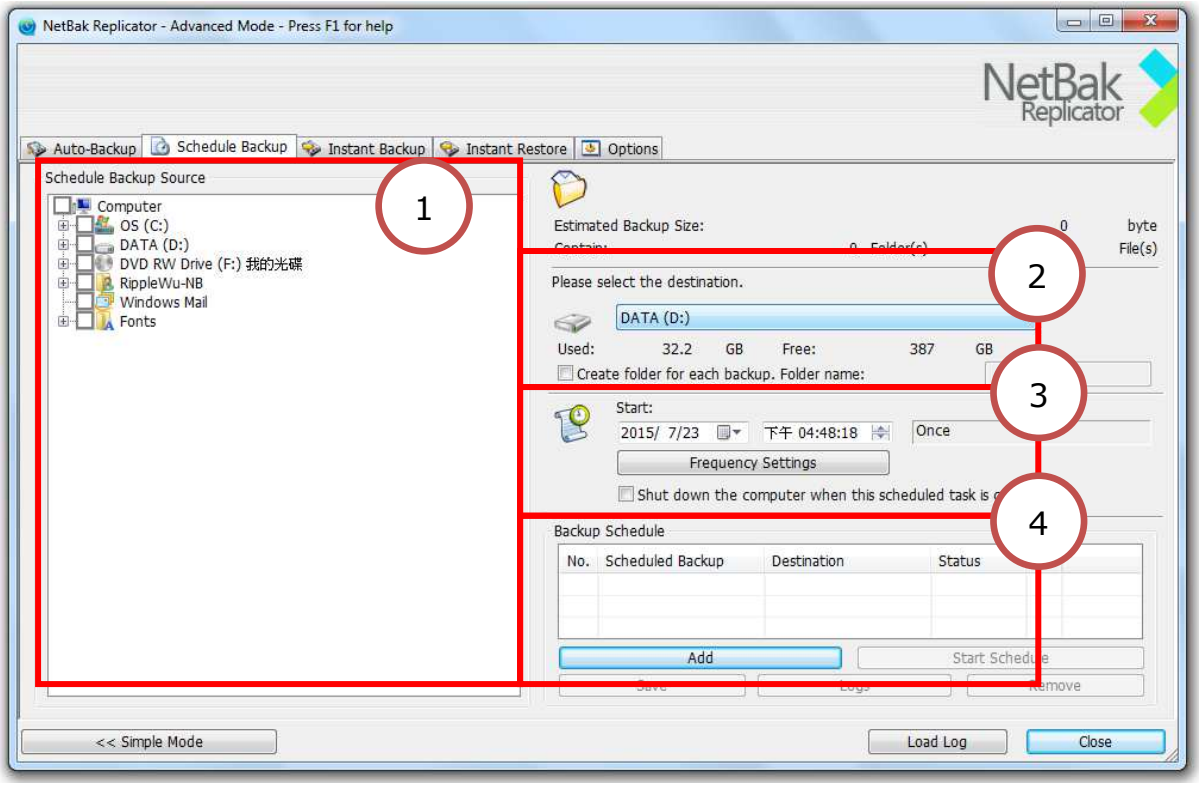
1 はバックアップ元です。

2 はバックアップ先です。

機能	説明
ソース	自動バックアップのファイルとフォルダーを選択します。
バックアップ先	データをバックアップするバックアップ先のドライブを選択します。バックアップ先には QNAP QBack デバイス、ローカルまたは外部のディスクドライブ、ネットワーク共有を指定できます。
バックアップ先ではファイルを削除しないでください。	この機能を選択すると、ファイルがローカルで削除されても、NetBak はバックアップ先でファイルを削除しません。
ログの消去	ログの上にカーソルを合わせると詳細が表示されます。ログを消去するには、「ログの消去」をクリックします。
オプション	「オプション」をクリックし、すべてのイベントログを表示するか、警告とエラーログのみを表示します。
名前を付けて保存	バックアップ情報を保存するには、「名前を付けて保存」をクリックし、ログを *.log ファイルとして保存します。
自動バックアップ開始/停止	自動バックアップを実行するには、「自動バックアップ開始」をクリックします。ファイルが以前にバックアップされていない場合、自動的にバックアップが開始されます。バックアップログとステータスが表示されます。 自動バックアップを無効にするには「停止」をクリックします。
簡単モード	簡単モードに戻ります。
ログの読込	以前に保存したログを表示するには、「ログの読込」をクリックし、ログファイルを選択します。
閉じる	NetBak Replicator を閉じます。

3.5.2 定期バックアップ

NetBak Replicator はコンピューターで指定したファイルとフォルダーを QNAP NAS、ローカルまたは外部ディスクドライブ、ネットワーク共有に毎日、毎週、毎月の基準で定期的にバックアップします。



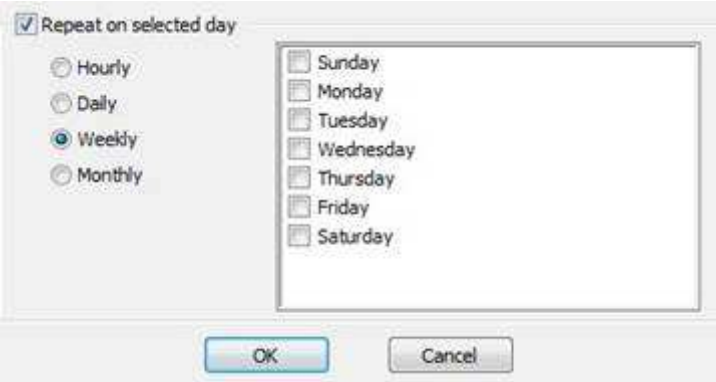
1 – バックアップ元

2 – バックアップ先

3 – 開始時間と頻度

4 – ジョブ一覧

機能	説明
ソース	定期バックアップのフォルダーとファイルを選択します。
バックアップ先	データをバックアップするバックアップ先のドライブを選択します。バックアップ先には QNAP QBack デバイス、ローカルまたは外部のディスクドライブ、ネットワーク共有を指定できます。
バックアップ別にフォルダーを作成します	有効にした場合、フォルダー名を入力してください。バックアップジョブにより、バックアップ先でこのフォルダーが作成されます。そのフォルダーの名前にはバックアップ名フィールドとバックアップ日付が使用されます。 例: NetBakData\MyBackup\YYYY-MM-DD-HH-MM-SS \

	選択したファイルがすべて、バックアップ先でこの新しいフォルダーにコピーされます。 そのフォルダーにコピーされたファイルは復元機能からは利用できません。目的としてバージョンをアーカイブまたは保存するためにファイルコピーのみが実行されるためです。一部のファイルを復元するには、NetBakData フォルダーでバックアップ先フォルダーを開きます。
開始時間と頻度の設定	バックアップスケジュールの開始日付および時刻を指定します。「頻度設定」をクリックし、スケジュールを設定します。 「選択した日に繰り返す」を選択し、バックアップスケジュールを指定します。このオプションが無効の場合、バックアップスケジュールは 1 回のみ実行されます。 
バックアップスケジュール	バックアップスケジュールがこの一覧に表示されます。最大 16 のバックアップスケジュールを作成できます。
追加	バックアップ元、バックアップ先、設定期間を選択したら、「追加」をクリックします。アクションがジョブ一覧に追加されます。
削除	ジョブ一覧からジョブを選択し、「削除」をクリックし、選択したジョブを削除します。
保存	バックアップスケジュールを変更するには、一覧にあるスケジュールを選択し、「頻度設定」をクリックします。設定を変更したら、「保存」をクリックします。「OK」をクリックして変更を確認するか、「いいえ」をクリックして取り消します。
ログ	バックアップログを表示します。
スケジュール開始/停止	スケジュールを有効にするにはバックアップスケジュールを選択し、「スケジュール開始」をクリックします。 バックアップスケジュールを停止するには、「停止」をクリックします。
簡単モード	簡単モードに戻ります。
ログの読込	以前に保存したログを表示するには、「ログの読込」をクリックし、ログファイルを選択します。
閉じる	NetBak Replicator を閉じます。

注記: 管理者以外のユーザーの場合、

3.5.3 インスタントバックアップ

詳細モードでバックアップを使用するには、「インスタントバックアップ」タブをクリックします。この機能は簡単モードのインスタントバックアップと同じです。詳しくは、「3.3 インスタントバックアップ」を参照してください。

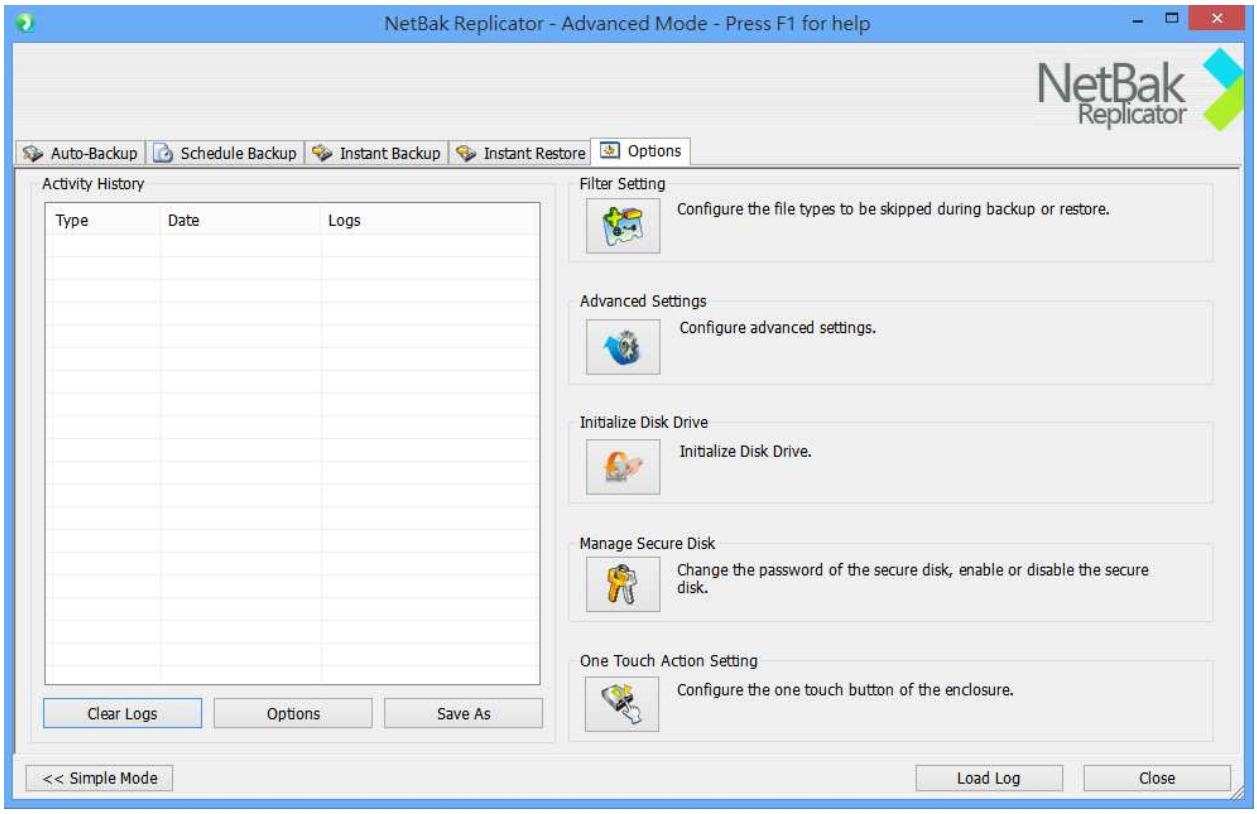
「バックアップ別にフォルダーを作成する」オプションはスケジュールバックアップの場合と同じです。詳細は「3.5.2 バックアップのスケジュール」を参照してください。

3.5.4 インスタント復旧

詳細モードで復旧を使用するには、「インスタント復旧」タブをクリックします。この機能は簡単モードのインスタント復旧と同じです。詳しくは、「3.4 インスタント復旧」を参照してください。

3.6 オプション

フィルター設定、ワンタッチアクション設定、セキュアディスク管理、ドライブ初期化などの高度なオプションを使用するには、簡単モードで「オプション」をクリックするか、詳細モードの「オプション」に進みます。

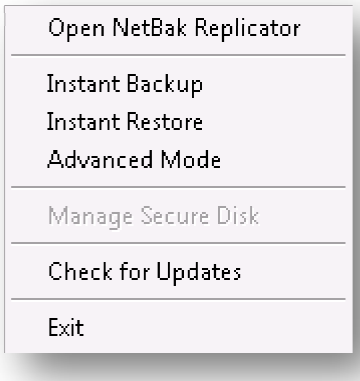


機能	説明
アクティビティ履歴	このセクションでは、NetBak Replicator のすべてのイベントログを記録します。このセクションのログを表示、保存、消去できます。
	フィルター設定 バックアップタスクと復旧タスクから除外するファイルサイズまたはタイプを指定できます。このアイコンをクリックして設定します。 ファイルサイズを構成するには、最小ファイルサイズオプションと最大ファイルサイズオプションに値を入力し、ドロップダウンメニューから値の単位 (KB、MB、GB) を選択します。 ファイルタイプを構成するには、追加ファイルタイプまたは除外ファイルタイプのボックスをクリックします。 文書、写真、動画、アプリケーション、音楽、一時ファイルなどのファイルタイプを選択できます。 各ファイルタイプの上にカーソルを置くと、そのファイルタイプに含まれている拡張子を確認できます。 拡張子をカスタマイズすることもできます。その場合、「* .拡張子タイプ 1 *, *.拡張子タイプ 2 *,」の構成で「その他」に拡張子を入力します。例: ☑ Others *.~*, *.!BW!, *.NU*, ~*.*, **この機能では「追加」が除外に優先することにご注意ください。**
	詳細設定 詳細設定には**開始設定、開いたファイルのバックアップ設定、電子メール通知**があります。
	開始設定 このオプションでは、システム起動時の NetBak Replicator 起動を有効化/無効化できます。
	開いたファイルのバックアップ設定 NetBak Replicator では、開いたファイルと Microsoft VSS 対応アプリケーションをバックアップできます。このオプションはデフォルトで有効になっています。定期バックアップとインスタントバックアップでのみサポートされます。 VSS 有効化: このオプションでは、開いたファイルをバックアップできます。 VSS ライター有効化 (アプリケーション整合性サポート): このオプションでは、VSS 対応のアプリケーション (MS SQL や Hyper-V など) をバックアップし、アプリケーションデータの整合性を維持できます。 ユーザーにプロンプトすることなくすべての VSS ファイルをバックアップするには、「定期バックアップ中は VSS ファイルの追加/除外に関してプロンプトしない」を選択します。
	電子メール通知 定期バックアップジョブまたはインスタントバックアップジョブが完了したときの電子メール通知を有効化/無効化できます。ここでは、SMTP サーバー IP またはドメイン名アドレスと SMTP サービスポートを指定する必要があります。また、SMTP 認証または SSL/TLS 暗号化を有効化できます。最大 2 つのメールアドレスを設定し、通知を受信できます。
	ワンタッチアクション設定 QNAP **QBack S-25** および **QBack S-35** デバイスのワンタッチボタンを押したときのアクションを選択します。このボタンを押すと、NetBak Replicator は前の設定に基づいてすぐにインスタントバックアップを実行します。 ワンタッチボタンを無効

	にするには、「何もしない」を選択します。 このオプションを利用するには、QBack Driver をインストールする必要があります。
	セキュアディスクの管理 このセクションでは、セキュアディスクのパスワードを変更したり、セキュアディスクを開いたり、閉じたりできます。 パスワードの変更: 外部デバイスのセキュアボリュームを選択し、古いパスワードと新しいパスワードを入力します。ドロップダウンメニューからセキュリティ質問を選択するか、パスワードリマインダーを入力します。 *セキュアディスクのパスワードを記憶するように選択した後にそのオプションを取り消すには、パスワードを変更し、「セキュアディスクのパスワードを記憶する」オプションのチェックを外し、NetBak Replicator を再起動します。 セキュアディスクを開く: 外部デバイスのセキュアディスクボリュームを選択し、パスワードを入力します。 「OK」をクリックします。 パスワードを忘れた場合、「パスワードプロンプト」をクリックしてヒントの質問と答えを表示します。それでパスワードを思い出せる場合があります。 セキュアディスクを閉じる: セキュアボリュームを選択し、「OK」をクリックします。
	外部デバイスの初期化 NetBak Replicator で外部デバイスを初期化するには、以下の手順に従います。 **注記:** NetBak Replicator が外部デバイスをフォーマットできる形式は NTFS ファイルシステムだけです。初期化後、すべてのディスクデータが消去されます。 1. デバイスが PC に適切に接続されていることを確認し、 アイコンをクリックします。 2. 外部デバイスに対応するドライブを選択し、「次へ」をクリックします。 3. 外部デバイスにパブリックディスクとセキュアディスクを作成できます。パブリックディスクのサイズを入力するか、スライドバーを使用してパブリックディスクとセキュアディスクの領域を調整します。「次へ」をクリックします。 4. パスワードを入力し、セキュアディスクを有効にします。パスワードには 8 ～ 64 文字 (英数字) を含めることができます。ドロップダウンメニューからセキュリティ質問を選択するか、独自のパスワードリマインダーを入力します。「次へ」をクリックします。 5. ディスク設定を確認し、「次へ」をクリックして初期化を開始します。次回、デバイスを同じ PC にプラグインしたとき、自動的にセキュアディスクを開き、自動バックアップまたは定期バックアップ (設定した場合) を開始するには、「セキュアディスクのパスワードを記憶する」を選択します。 6. 「OK」をクリックします。 7. 初期化プロセスが完了するまで待ちます。「完了」をクリックします。パブリックディスクとセキュアディスクが自動的にコンピューターにマウントされます。

3.7　トレイアイコン管理

NetBak Replicator を実行すると、システムトレイに アイコンが表示されます。アイコンを右クリックすると、「NetBak Replicator を開く」、「インスタントバックアップ」、「インスタント復旧」、「詳細モード」、「セキュアディスクの管理」、「更新チェック」、「終了」を選択できます。



3.8　NetBak Replicator の終了

NetBak Replicator を終了するには、トレイアイコンの を右クリックし、「終了」を選択します。

4　テクニカルサポート

QNAP は、インスタントメッセンジャーによる専用のオンラインサポートとカスタマーサービスを提供しています。

お問い合わせ方法については弊社の Web サイト (http://www.qnap.com/support) をご覧ください。